

南三陸 椿ものがたり復興



● 活動のきっかけ

2012年5月、登米市南方仮設住宅の集会所で開催された日本造園学会の報告会。その終わり頃、1人のおばあさんがつぶやいた一言から、この活動が始まることになりました。

「町も家もなくなってしまったけど、椿は根っこが強いから、津波が来ても生き残ったんだ。でも、こんな、おばあの言うごどなんて、誰も信じねーから、誰さも、言わないでね」

本格的な活動は、2012年8月の復興てらこ屋「南三陸町ワークショップ 椿—花咲く町をつくろう」から始まりました。南三陸町に多く自生しその実からとれる油が生活に使われる等、町民の記憶に様々な形で残る「椿」。大津波や塩害にも耐え生き残ったその逞しい植生から、この町に生き続ける者たちが生き方を学び、復興に向けた希望を共有する場として「椿ものがたり復興」は展開していきました。



2012.8.4 復興てらこ屋「南三陸町ワークショップ 椿—花咲く町をつくろう」の様子
南方仮設住宅 第1集会所

● 活動内容

① 椿はな咲くまちづくりお茶会(2012年度～)

「復興の話し合い」ということだと参加しにくい、と感じている女性や高齢者の方も気軽に参加していただけるよう、「椿」をテーマにしたお茶会として、仮設住宅の集会所を会場に始めた活動です。

誰でも気軽に参加でき、椿茶を飲みながら、自由におしゃべりができるお茶会であるけれども、復興まちづくりに活かす住民の声を聞くためにワークショップ形式をとることもあり、模型などを活用して復興まちづくりの情報提供を行うこともあり、といった具合に、幅広い立場・世代の方々が復興まちづくりと関わる機会とすることを意識しました。役場やコンサルタントの方にも来ていただき、町民の声を直接お伝えする場ともしました。

お茶会の様子は、毎回、写真入りのお便りにまとめて、当日参加できなかった方にもお渡しするようになりました。

椿はな咲く町をつくろう お茶会 報告書 2013.3.23 13:30~15:30
場所 志津川小学校仮設住宅 集会所 主催 復興みかん会
後援 神戸 パイダイセンター 5名
参加者 14名 パス・ワコ・コリアン・千田

「お茶会の様子」
お便りの最終日に作った椿のお茶会は、地元のお母さん方のリクエストで思い出せるような楽しい時間になりました。まちづくりの現状も報告。干場が欲しいという声も聞きました。「幸ひよかたわ」も、まいりませう！

「お茶会の様子」
お便りの最終日に作った椿のお茶会は、地元のお母さん方のリクエストで思い出せるような楽しい時間になりました。まちづくりの現状も報告。干場が欲しいという声も聞きました。「幸ひよかたわ」も、まいりませう！

「お茶会の様子」
お便りの最終日に作った椿のお茶会は、地元のお母さん方のリクエストで思い出せるような楽しい時間になりました。まちづくりの現状も報告。干場が欲しいという声も聞きました。「幸ひよかたわ」も、まいりませう！

「お茶会の様子」
お便りの最終日に作った椿のお茶会は、地元のお母さん方のリクエストで思い出せるような楽しい時間になりました。まちづくりの現状も報告。干場が欲しいという声も聞きました。「幸ひよかたわ」も、まいりませう！

2013.3.23 志津川小学校仮設住宅集会所で開催したお茶会の「報告書」椿の思い出話～これからできそうな椿の活動について～まちづくりの現状についてという流れで話題が進みました。



2013.7.5 南方仮設住宅 第1集会所 お茶会～話し合い 「松原の思い出とこれから」～復興公営住宅の模型を見ながら意見交換

2014年度からは、復興公営住宅に入居を予定している皆さん向けの事前交流会としても、お茶会を開催しました。役場主催の入居説明会が開かれない仮設住宅も多くあったことから、役場やコンサルタントの皆さんと一緒に集会所に出向いて、復興公営住宅への入居手続きなどについて情報提供し意見交換を行うことで、皆さんの不安を少しでも取り除けるようお手伝いしました。



2015.10.6 南方仮設住宅第1集会所 役場担当者からのお話し



2015.10.13 津山町横山団地仮設住宅集会所 意見交換の様子

② 椿の避難路づくり(2012年度～)

津波からの避難路沿いに椿をたくさん植えておくことで、遠い将来にまた津波がおきた際の避難の目印になるのではないか、というアイデアから始まった活動です。

椿の苗の植樹・育樹（下草刈りなど）活動から始まり、苗を増やしていくための椿の種拾い・ポット苗づくり、種から採れる「椿油」を使った料理を楽しむ交流会、遠くに避難している方にも町の復興の様子を見ていただく「椿のお花見バスツアー」など、たくさんの活動が生まれていきました。



2013.3.27 椿を植えましたよ志津川ツアー 上山八幡宮敷地内



2014.9.3 夏休みを利用していらした学生の皆さんと一緒に下草刈り 上山八幡宮敷地内





子どもたちと椿の苗づくり
2014.11.19 戸倉小学校



2016.2.19
椿のけんちん汁パーティー
南方仮設住宅第1集会所



2016.9.26 椿のたねっこ拾いバスツアー
南方仮設住宅の皆さんと一緒に、椿のたね拾いをしながら、町の復興の様子を視察しました。



③外部支援者とのつながりづくり

「南三陸椿くらぶ」の皆さんと一緒に、「椿のきりこはがき」といったグッズの製作を続けました。町を訪れた方に手に取っていただき、椿の活動について広く知っていただくきっかけとするとともに、グッズの販売益を、将来、新しい町に椿を植えるときの苗木代に活かしていくことにしています。



2016.6.27 南三陸椿くらぶの皆さん



2016.10.4 椿のきりこはがきづくり

●活動の成果・発展

- 「椿はな咲くまちづくりお茶会」を通じて、町役場やUR都市機構などコンサルタントの皆さんとのつながりも深くなりました。このことが、復興公営住宅入居前に、入居予定者の交流を深めコミュニティづくりを支えていく「くらしの懇談会」の活動へとつながりました。
- 「椿の避難路づくり」の活動からは、本当に多くのご縁をいただきました。このご縁を活かしながら、これからも新しくできる町を椿でいっぱい町にしていく活動を続けていきます。



椿はな咲くまちづくり

～南三陸椿ものがたり復興～
この1年のご報告

「大津波にも負けなかった
椿もふるさとに植えたし。
そんな住民のちいさな声から
始まった、ちいさな種を蒔いてゆく
活動を、まとめてみました。
ご縁の花咲くまちに
なりますように。」

活動期間 2012-春から2018-冬

主人公 南三陸町民のみなさん
主催 復興みなさん会
協力 東北圏地域づくり
コンソーシアム
宮城県地域連携
センター

大のなは、根っこで。
遠く生きるために必要な
土台づくり、ありがとうございます。

苗木代
種で
ハチマキ
いろいろな
かたちで

椿はな咲くまちづくりお茶会は、16回、5ヶ所の仮設集会所などで
行いました。これからは、より多くの皆さまの活動を応援します。

- 一連の活動は、2018年2月に開催されたコンテスト「S-1グランプリ第5回いがす大賞」にて、最優秀の「いがす大賞」を受賞しました。

2018.2.24 第5回いがす大賞 プレゼンテーションの様子

いただいた助成金・補助金等

- ちば元気ファンド 東日本大震災市民活動支援助成金「南三陸町絆再生コミュニティ復興支援事業」(2011～2012年度)
- 公益財団法人トヨタ財団 2012年度国内助成(冬助成) 東日本大震災対応「特定課題」助成金「南三陸町町民主体の復興に向けたまちづくり支援事業」(2012～2013年度)
- 公益信託仙台銀行まちづくり基金助成金「椿はな咲くまちづくりプロジェクト」(2013～2014年度)
- 宮城県震災復興担い手NPO等支援事業補助金「復興公営住宅や高台移転団地等新しいコミュニティ形成に向けた町民活動支援事業」(2014年度)
- ジャパン・ソサエティ東日本大震災復興基金(ローズファンド)助成金「南三陸椿ものがたり 子どももお年寄りも一緒に復興まちづくり」(2014～2015年度)
- 公益財団法人トヨタ財団2014年度国内助成プログラム(東日本大震災特定課題)助成金「入居前からはじめる、南三陸町災害公営住宅 絆づくり事業」(2014～2015年度)
- 公益財団法人大阪コミュニティ財団助成金「南三陸町コミュニティ再生・復興に向けた町民活動支援事業」(2015年度)
- 認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム「共に生きる」ファンド(第23回)助成金「復興公営住宅入居予定者の絆づくり支援事業」(2015年度)
- 赤い羽根 災害ボランティア・NPO活動サポート基金(第18次)助成金「入居前から始める南三陸町復興公営住宅入居者のつながりづくり支援事業」(2015～2016年度)
- 公益信託オオバまちづくり基金助成金「南三陸 椿ものがたり復興 2016年秋の巻」(2016年度)
- 認定特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム「共に生きる」ファンド(第24回)助成金「復興公営住宅入居予定者どうしの絆づくりおよび復興公営住宅とその周辺地区との絆づくり支援事業」(2016年度)
- 公益財団法人トヨタ財団2016年度国内助成プログラム(東日本大震災特定課題)助成金「南三陸町 復興公営住宅自治会運営力向上支援事業 一自治会が地域資源を活かしながら自立し、たくましく活動を展開していくために」(2017年度)
- 公立大学法人宮城大学地域連携センター地域振興事業部「宮城大学災害対応支援事業」(2012～2013年度)

ご支援いただきありがとうございました。